



ボジョレーでは、順調に成熟が進む

8月16日(月)より採取が始められた、成熟ネットワークによる最新の収穫データによると、**ブドウの成熟は予想通りに進んでいる。採取した区画は147に達し、平均して91%が成熟した。**

ここ3週間の乾燥し、晴れた天候によって成熟が順調に進んでいる。ここ数日の好天で、雨の降らない天気によってブドウの中に一定になるように糖が蓄積している。

潜在的な酸も申し分なく、全体的な酸はむしろ高めで pH は平均的であり、糖とポリフェノールは収穫するのに適した蓄積に達している。

次に凍害と雹について。地表に確認できるブドウは小粒で、収穫量が少なくなることが推測される。(平均して直近5年で30%~50%減少)

ピエール・ドレ地区生産者組合の技術チームは次のように述べた。

「例年とは異なる年だ。運まかせの天候と7月の雨にも関わらず、ブドウ栽培者は収穫量を確保することに成功した。品質もまた期待されるが、雹は局地的にしか降らなかった。8月26日(木)以降、気温は上がっている。(遅摘みエリアで平均して1日平均+0,24% アップ) ここ数日のひんやりとした気温にも関わらず、この傾向は進んでいる。」

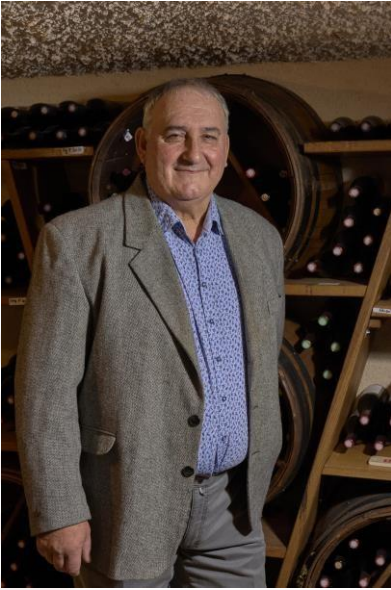
最も早熟なエリアのブドウ収穫の開始は、今の所、シャルドネで9月10日ごろを検討しており、その数日後にガメイとなる。成熟ネットワークの枠組みで行われる次の採集によって、ここ数日のより明確な傾向がわかるだろう。

*成熟ネットワークは2021年ミレジムについて30回調査を実施した。ブドウの成熟初めから、1週間に2度、200近いブドウ生産者が善意で230区画以上において採取を行い、その結果を、このネットワークを統括、運営しているローヌ農業会議所に送付している。集約されたデータは取りまとめて分析され、ブドウ生産者や業界関係者に利用提供される。その機能によって、重要で唯一の決断を追跡し支援するツールである。



8月31日に Saint-Vérand で撮られた写真
©Cave des Vignerons des Pierres Dorées



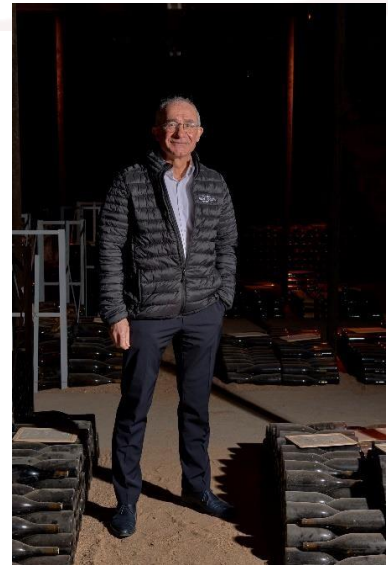


ダニエル・ビュリア ポジョレーワイン委員会会長よりコメント

「ブドウ栽培者であることは、自然とともに生きることです。毎年新しいストーリーが刻まれます。2021年、私たちは各ブドウ区画でその世話をすべく、倍の努力をしなければなりません。不規則な気候によって、ブドウ生産者たちはより注意深く気を配らねばなりません。収穫の成果は区域によって一定ではないでしょうが、恐らく少ないと言えるでしょう。私たちは最後の直線上にいます。8月15日以降雨は止み、私たちは希望を持って、典型的なポジョレーワイン、つまり私たちのお客様が好むような、フルーティーで口当たりの良いワインが作れるよう収穫の月である、9月を迎えています。」

フィリップ・バーデ ポジョレーワイン委員会副会長よりコメント

「例年より雨の多かった夏を過ぎ、ポジョレーでは数日ぶりに、収穫の始まりを心待ちにできるような高気圧の状況を迎えています。急いでブドウを摘み取ることはまったく意味がなく、品質の追求には、最良の成熟状態に至っているよう、辛抱強さが求められます。今年は糖と酸のバランスが、ポジョレーワインの果実味があっておいしい典型的なミレジムの生産に適しています。」



ポジョレーワインについて

リオンとブルゴーニュ地方の間に位置し、ポジョレー地方のワイン畑は14,500ヘクタールに及び、ポジョレーの12のアベラシオンには2,000以上のドメーヌと9つの協同組合醸造所、200ものネゴシアンが展開しています。ポジョレーの12のアベラシオンは、その華やかなワインに際立って表れています。北に位置し100%赤ワインを扱うクリュ、ブルイ、シエナ、シルーブル、コートブルイ、フルーリー、ジュリエナ、モルゴン、ムーランナヴァン、レニエ、サンタムール。赤、白、ロゼの3色と新酒を扱うポジョレー、ポジョレーヴィーージュです。

このリリースについてのお問い合わせ

ポジョレーワイン委員会 日本事務局 (担当: 伊藤、藤塚、鈴木)

beaujolais@audacejapan.com

Tel : 03-5615-8177

Carnet Beaujolais カルネ・ポジョレー (日) <https://carnet.beaujolais.com/jp/>

ポジョレーワイン委員会 フォトライブラリー(仏) <https://extranet.beaujolais.com/phototheque-categories>

www.beaujolais.com

